



発行●**狛江市**
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp
編集・制作●特定非営利活動法人 **k-press**
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イイダ3階A号
☎3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は協働コミュニティ課へ

プロが小中生の音楽指導



狛江四中吹奏楽部

学校音楽活動支援事業

夏休みに行われるコンクールに出場する市内の小・中学校の合唱部と中学校の吹奏楽部を対象に、エコルマホールで本番に備えた練習と、プロの声楽や演奏者から直接指導を受ける「学校音楽活動支援事業」が、「音楽の街ー狛江」の事業の一環として毎年実施されている。

合唱ホール練習 は毎年NHK全国学校音楽コンクール（Nコン）を前に実施されており、7月22日 日に狛江第六小学校と狛江第四中学校の合唱部がエコルマホールでバリトン歌手の新見準平さんから指導を受けた。

狛江第六小学校合唱団は、顧問の島田もと子教諭が赴任した5年前に結成、4年～6年の45人が所属している。島田教諭の指揮で課題曲の二部合唱「どっさん せみさん」（チョー作詞/三宅悠太作曲）と自由曲



狛江六小合唱団

の三部合唱「リフレイン」（寛和歌子作詞/信長貴富作曲）を練習した後、新見さんが主に課題曲についてハーモニーの強弱や歌詞に合わせて体で表現する方法などを約1時間30分にわたって指導した。

狛江第四中学校合唱部は、市内の中学校で唯一の合唱部で30人が所属している。顧問の稲垣知子教諭の指揮で課題曲の混声三部合唱「花へ。」（反田恭平作詞・作曲）と自由曲の混声四部「きこえてくる」（まど・みちお詩/横山潤子作曲）を練習。続いて新見さんが課題曲について歌詞のアクセント、ハーモニーの強弱、声の響かせ方などを2時間以上にわたって指導した。



狛江四中合唱部

吹奏楽ホール練習 は東京都中学校吹奏楽連盟が毎年夏休みに開催する東京都中学生吹奏楽コンクールの前に毎年実施している。

今年は7月27日 日に各校のコンクール出場者が交代でフルート奏者日野真奈美さん、クラリネット奏者矢ヶ崎貴史さん、トランペット奏

おんまち20 音楽の街ー狛江 #6b



狛江一中吹奏楽部

者岩月美樹さん、トロンボーン奏者山崎拓未さん、チューバ奏者石川佳秀さん、パーカッション奏者齋藤綾乃さん、指揮者榊原徹さんから約1時間40分にわたり演奏技術や表現方法などについて丁寧な指導を受けた。客席では1年生の部員も熱心に演奏や指導を見つめていた。

狛江第一中学校吹奏楽部は部員60人で、2・3年生約40人がコンクールに出場する。始めに顧問の益子裕美教諭の指揮で「木花之咲耶姫〜吹奏楽と打楽器群のための神話」（片岡寛晶作曲）を演奏した後、講師の技術指導を受けた。部長の小山柑和さん（3年）は「専門の先生に聴いてもらい、表現の仕方についてより理解が深まりました」と話していた。

狛江第二中学校吹奏楽部は部員41人で、そのうち2・3年生を中心に23人がコンクールに出場する。部活動指導員の藤岡祐輝さんの指揮で「ちはやふる」（樽屋雅徳作曲）



狛江二中吹奏楽部

を演奏。講師の指導を受けた。

部長の金子瑠美さん（3年）は「各楽器ごとに技術的な演奏法を丁寧に教えてもらいとても役に立ちました」と話していた。

狛江第三中学校吹奏楽部は部員23人で、コンクールには全員が出場する。部活動指導員の鈴木孝順さんの指揮で「スペイン組曲」（L.アルベニス作曲、鈴木孝順編曲）を演奏した後、講師の指導を受けた。部長の東山拓未さん（3年）は「自分たちで気づけなかった課題が見えたので良かったです」と話していた。



狛江三中吹奏楽部

狛江第四中学校吹奏楽部は部員55人でコンクールには2・3年生30人が出場する。部活動指導員の木津陽介さんの指揮で「月の旅人（吹奏楽版）」（高橋宏樹作曲）を演奏した後、講師の指導を受けた。部長の大場結衣さん（3年）は「自分では気づけなかったことを指摘され成長できました」と話していた。

楽器調整会 がスガナミ楽器経堂店の協力でホワイエで行われた。生徒たちはパーカッション、フルート・クラリネット・サクソ、ホルン・トロンボーン・ロータリーチューバ、トランペット・ピストンチューバの部門に分かれ、それぞれの楽器調整のスペシャリストから楽器のパーツの役割などについて説明を受け



楽器調整会

たり、日頃の手入れの仕方などを習ったりした。また、持参した楽器を調整してもらい、喜んでいた。

日本伝統の芸能を披露 20日に邦楽の集い

邦楽の集い が20日 日正午から西河原公民館で催される。

狛江市邦楽連盟（奥谷宗昭会長）が狛江市教育委員会の後援で催すもので、今年で49回を数える。

同会は伝統芸能の普及発展を目的に民謡の会を主宰する西牧貞重さん（故人）らの呼びかけで約50年前に発足した。民謡、舞踊、詩吟、端唄などを教える師匠や団体で構成し、ジャンルの垣根を越えた発表の場として「邦楽の集い」



邦楽の集いに出演するこまの会

音楽の街ー狛江 エコルマ企画委員会の委員紹介

おんまち入タツフ



家中 紫音さん いえなか しおん

***いち推しの作曲家と曲▷**ラフマニノフ「ピアノ交響曲第2 番第1楽章」

重厚な弦楽器と色彩豊かなピアノが好き。クラウス・バデルト、ハンス・ジマー「彼こそが海賊」（映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」より）、音楽の道に進むきっかけになった***音楽の効用▷**記憶の保持。中高生時代に演奏した曲を聴くと当時のことが鮮明に思い出される***音楽を始めた時期と楽器▷**ピアノを3歳頃から始め、8歳から「のだめカンタービレ」の影響でヴァイオリン、中学生から吹奏楽部で打楽器を始める***狛江で**

やりたい音楽活動▷生の楽器や音楽を感じられる機会を増やしたい。演奏家にも演奏しやすい、また演奏したいと思える環境や仕組みなどを整えたい***狛江の街の魅力▷**人とのつながりを大切にできるイベントが多い。自然が豊かで、のんびり過ごせる場所がある。多摩川は今もよく散歩する。

●**プロフィール**●楽器・音楽ジャンル：マリンバ、パーカッション。狛江市出身。都立狛江高等学校を経て日本大学芸術学部音楽学科卒業。保育園や合唱団などでの演奏や学校の部活動指導、作編曲活動を行っている。フルート、ピアノとのトリオ「LeLien〜ルリアン〜」やマリンバデュオ「OTO vista」でも活動中。